

議会だより

2021年10月発行

梶原正憲

☎ 44-4719

📞 090-5389-9936



鹿屋東中学校 体育大会



篠原榮一氏作「秋の記憶」



普通米とヒガン花(上祓川町)

さわやかな秋晴れが続き、スポーツ・読書・芸術の秋、そして五穀豊穡の季節を迎えて皆様にはご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

気候変動によると思われる長雨や台風16号の接近に水稻の収穫が心配されましたが、早期・普通米の作柄状況は平年並みと聞き安堵しています。

しかし、本市の基幹作物「さつま芋」については「^{もとくされびょう}基腐病」の被害拡大が予想されており、その対策と耕作者の頑張りを祈念しております。

コロナ禍の中、ワクチンの接種はもとより、医療機関並びに関係当局及び国民のご尽力により、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が終了されましたが専門家によると冬には第6波の襲来も懸念されることから「警戒と対策」を続けるべきと訴えています。

市民の皆様には引き続き「三つの密」を徹底的に避け、「人と人の距離の確保」「マスク着用」「手洗いの励行」を実行し感染防止に頑張りましょう。

10月4日招集の臨時国会が14日まで開催されます。岸田文雄総理大臣のコロナ対策や経済対策などの所信表明に対して、各党の代表質問を期待すると共に10月19日公示、10月31日投開票の総選挙が実施されます。主権者として国益を第一主義に地域や国民に寄り添う政策を推し進める候補者に応援しましょう。

さて、鹿屋市議会9月定例会は、9月3日から27日までの25日間の会期で開催され、議会の業務効率化やペーパーレスのためICT化の一環としてタブレット端末を導入した試行運用が開始されました。

今定例会に上程された議案は、一般会計補正予算（第5号・6号・7号・8号）並びに条例の一部改正など議案20件を慎重審議し、それぞれの議案を原案可決・承認・適任と認め、令和2年度鹿屋市一般会計決算の認定議案など6件を関係委員会に付託し閉会中の継続審査としました。

また、**意見書**（コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方財源の充実）を採択、**請願**（川内原発20年運転延長に伴う課題の調査・研究・議論を求める）を否決、**陳情**（分煙環境西武に関する）を趣旨採択としました。

さらに、諮問議案の人権擁護委員候補者の推薦に出水田 千穂美氏（西原2丁目）、前田 昭一氏（輝北町市成）、村場 スズ子氏（申良町有里）、本村 ヤス子氏（申良町上小原）を適任と認めました。ご活躍をお祈り申し上げます。



タブレットの活用

一般質問には代表質問2名、個人質問14名の同僚議員が登壇し各分野における当局の見解を質しました。

今議会の所感として

- 財政見直しについて、新型コロナウイルス感染症対策には国の地方創生臨時交付金やふるさと鹿屋応援基金・財政調整基金など積極的に活用し、安全・安心な生活を守る運営に努めてきたが、長期化する新型コロナウイルス感染症対策やウィズコロナ、アフターコロナを見据えた経済対策、公共施設設備等の更新や長寿命化に要する経費、多発化する災害への対応、少子高齢化等に対応する社会保障費の増大に対応する経費などが見込まれ厳しい財政状況が続くと予想している。
- 財源確保については、市税収納率向上や国・県補助金の積極的活用、ふるさと納税の推進に加え、企業版やクラウドファンディング型のふるさと納税など創意工夫による新たな財源の取組みとともに、これまで以上に成果を重視した「選択と集中」による事業の重点化による歳出の効率化に取り組む回答を多とし、さらなる議会のチェック機能を高めて参ります。
- 通学路における安全対策については、「鹿屋市通学路交通安全プログラム」に基づいて児童生徒の通学路の安全確保に向けて取り組みを行い、H.26年度から行ってきた合同点検137カ所のうち横断歩道のカラー化やカーブミラーの設置など97カ所が対策完了、大規模な工事を伴う等による40カ所が未完了であることから

関係機関に今後も強く要望を継続する。

- 合同点検で明らかになった危険箇所については安全マップやPTA、学校メール等において保護者に周知している。
- 本年6月千葉県での下校中の交通事故後の合同調査では、交通量・大型車の進入が多いところや横断歩道等の白線が薄れているなど82カ所の報告が上がってきており合同点検を実施する。
- 今後も、悲惨な事故が発生しないようにソフト・ハード面においても地域全体で取り組みを強化して参りましょう。



令和3年度一般会計補正予算(第5号・6号・7号・8号)概要説明

(5号補正予算)・・・1億9,707万6千円

- 新型コロナウイルス感染症に係わる予防接種について64才以下のワクチン接種を加速させるため夜間集団接種やワクチン接種経費の時間外・休日加算等の上乗せの支給及び接種年齢の拡大に対応する経費

(6号補正予算)・・・4億円

- 市民生活支援や事業者支援などポストコロナを見据えた事業を実施する経費

①プレミアム商品券市民生活応援事業・・・2億3,010万4千円

- 販売価格 一冊5千円(6千5百円分)
- 購入限度 複数世帯 12冊 単身世帯 4冊
- 販売 令和3年11月中旬
- 利用期間 令和3年11月下旬から令和4年2月

②生活応援商品券交付事業・・・4,158万4千円

- 新型コロナウイルス感染症により家庭生活への負担や減収等の影響を受けてきた世帯に対してプレミアム商品券の無料引換券を発行し、日常生活における家計の支援

③プレミアムポイント飲食応援事業・・・8,529万2千円

- キャッシュレス決済による支払いに対してポイントを還元し、コロナ禍の影響を受けている飲食店等の支援や非接触型決済を推進

④中小企業等経営安定支援事業・・・2,302万円

- 新型コロナウイルス感染症により、売上げが減少した事業者が経営安定のために借り入れた資金の一部を助成し継続支援

⑤かのや物産販売応援事業・・・1,400万円

- 市民や観光客の土産購入費用の一部を助成し、購入促進を図り、物産関連事業者を支援

⑥おおすみ癒しの観光業応援事業・・・600万円

- バスツアーを実施しコロナ疲れを吹き飛ばすため市民応援を行い、観光関連事業者を支援



(7号補正予算)・・・15億641万1千円

- 国・県補助金等の決定を受けて実施する事業と令和2年度決算剰余金確定に伴う積立に要する経費

- ①介護施設防災等対策事業・・・1億1,807万円
- ②飼料用米供給体制確立推進事業・・・737万6千円
- ③畜産クラスター事業・・・2,410万円
- ④サツマイモ基腐病病害対策事業・・・333万2千円
- ⑤東京オリンピックモニュメント設置事業・・・165万円
- ⑥財政調整基金積立金・・・13億5千万円



浄化槽(養豚)の強化

(8号補正予算)・・・2億9,830万円

- 新型コロナウイルス感染拡大が長期化する中で、「緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置」により売上げが減少した事業者市民に対する支援等に要する経費

①中小企業等経営継続支援事業・・・2億9,170万円

- 対象事業者 令和3年8月、9月の売上げが前年又は前前年の同月と比較し20%以上減少した事業者
- 支援額 法人(約400件)上限20万円、個人(約460件)上限10万円
- 加算金 ホテル・旅館・貸切バス・タクシー・運転代行・旅行者などに対して加算されます。

②新型コロナウイルス感染症自宅待機者支援事業・・・660万円

- 自宅待機となった濃厚接触者で食料品等の確保が困難な方に対して、一日千円程度の食料品等の無償提供

③飲食店営業時間短縮要請協力金事業・・・1億3,020万円

- 県の営業時間短縮の要請に応じた飲食店へ支給する協力金について1割負担する。

次回の鹿屋市議会(12月)定例会は、11月26日(金)から12月16日(木)まで開催予定であります。ご意見・ご要望など反映する事項がありましたらご連絡ください。